

5. ジャノメチョウ科

- ウスイロコノマチョウ、マサキウラヤミジャノメチョウ
- × シロオビヒカゲ、ヤエヤマウラナミジャノメ、リュウキュウヒメジャノメ
(夏の採集行ではジャノメチョウ科の姿は全般的に個体数が少なく春とは対象的であった。)

6. シジミチョウ科

- ウラナミシジミ、アマミウラナミシジミ、ヒメウラナミシジミ
- × ウラギンシジミ、リュウキュウウラボシシジミ
(リュウキュウウラボシは春も少なかった)
○印については3~4頭程度ではなく目撃も採集も出来たが春には非常に沢山の目撃が出来たのでその差が著しく異っていた。

7. セセリチョウ科

- クロセセリ、タイワンアオバセセリ、ネッタアカセセリ (ネッタアカセセリは7~8頭の目撃しか出来なかったが春には沢山、目撃が出来た)
- × オオシロモンセセリ、テツイロビロードセセリ
(テツイロは春にも多くなかった)

◆春に少なく夏に個体数の多かった種類

1. アゲハチョウ科

なし

2. シロチョウ科

ウスキシロチョウ (春は全く目撃出来なかった)

3. マダラチョウ科

なし

4. タテハチョウ科

メスアカムラサキ、リュウキュウムラサキ (春には全く目撃出来なかったが夏にはかなりの個体を

目撃出来た)

ヤエヤマムラサキ (春には全く夏には1頭のみ目撃出来た)

5. ジャノメチョウ科

なし

6. シジミチョウ科

シルビアシジミ

7. セセリチョウ科

クロボシセセリ、コウトウシロシタセセリ (春には目撃出来なかったが夏には3頭目撃出来た)

★参考文献

岩村 巖：八重山の蝶

ひろおびNo.6

佐々木薫：八重山の蝶類採集記録 (1980)

ひろおびNo.6

八木 弘：八重山諸島に蝶を訪ねて

ひろおびNo.6

KAORU SAKAKI 〒678 相生市

アサギマダラの
移動調査について

近 藤 伸 一

アサギマダラの移動調査は、近年各地で行なわれており、離れた場所で標蝶が採集され、移動の状況が少しずつ解明されつつある。

淡路島の南部にある輪鶴山の標高 600 m の山頂付近には、毎年 8 月下旬になるとアサギマダラが集まる。1983 年 8 月 21 日当地を訪れたが、この年は数が少なくわずかに 17 羽 5 羽ではあったが、マーキングして放した。今後も継続して行う予定なので、もし採集された方があれば連絡いただきたい。前翅には「ヒメジ S. K.」後翅に番号を記入している。

Shinichi Kondo 神戸市